

### 撮津なつかし写真館



年代不明

写真のように2人で踏むこともある

# 郷土撮津 いにしえ通信

第16号

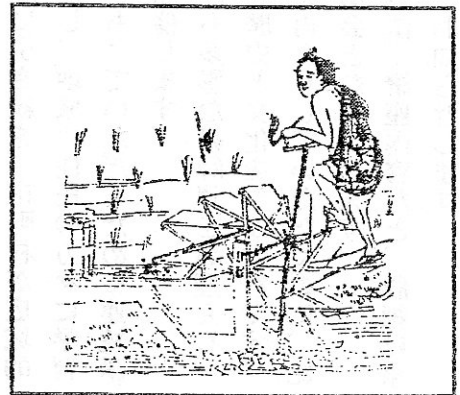
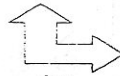
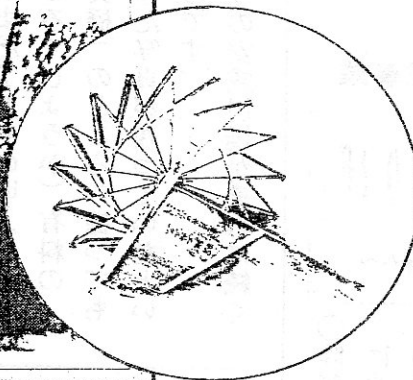
平成十一年八月一日

発行

摂津市三島一丁目一番一号

摂津市教育委員会

生涯学習部 生涯学習課



摂津市の民具とくらしより

## 足踏み水車

井路（用水路）から山に水をくみあげる水車で、呼び名は地方により異なります。摂津市域ではミスグルマ、ミスカキグルマ、スイシャなどと呼ばれていたようです。

江戸時代の『農具便利論』では、踏車と呼んでおり、標準名は踏車とするのが適切だと思われま

※体験談・足踏み水車※

◎胴と水車を左右に分け、オコでかついで行き、竹をたて、後に倒れないように斜めにつっかい棒をして据え付ける。◎水かき車に乗るときは、降りるとき、子供にとっては高くバランスが取りにくく、こわい思いをした。◎畑の水かきの用水は、下田の細

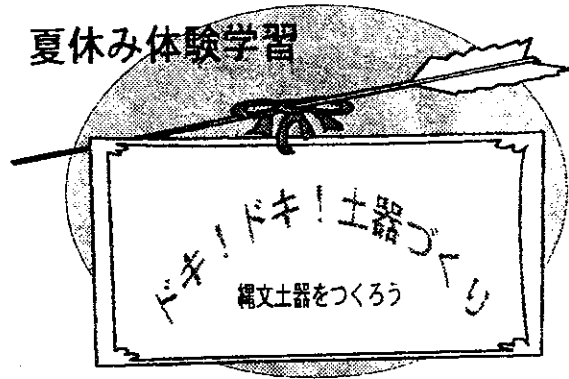


い用水路が多い。始めの内は水が多く、足に負担がかかるが、ゆったりと水かきが出る。◎しかし、だんだん用水路の水が少なくなると、軽くなり足の運びが速くなりバランスを取るのが難しくなってくる。

（鳥飼野々在住）

お知らせ

夏休み体験学習



【とき】 八月九日(月) かたちづくり  
八月十三日(月) 野焼き

【ところ】 下里丘公民館

【定員】 十五名

【材料費】 五〇〇円

※縄文時代の上器を粘土でつくり野焼きします。

※申し込み・問い合わせは下里丘公民館まで。

投稿 橋も二言

鳥飼の仁和寺大橋は有料橋で、通称「百円橋」と呼ばれています。鳥飼大橋も戦後の一時期「日本で最初の有料橋」と呼ばれていました。

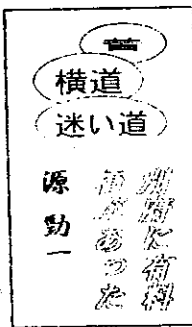
ところが、別府にもむかし有料の橋があったと、以前聞いたことがあります。

別府の古老のお話では、自分がまだ子どもの頃(大正中期ごろでしょうか)有料の「一文橋」のところで撮ったというので、

今の安威川橋かそれに続く

籠ヶ橋のあたりだったようですが、小さいころのこととて記憶がはつきりしないそうです。

その頃の安威川は、帆かけ舟もさかんに通っていて、若い嫁さんなどが川岸で川の水で洗いや物をしていると船頭がからかいながら通ったそうです。



帆かけ舟が通るので、安威川の橋は中央部の高い太鼓橋になっていて、その上を渡る時すきまから下が見えるので、恐くて這って渡ったそうです。ところが不思議なことに近くの古老と同世代の方は一文

橋を知らないと言われるので

す。記憶がいででしょうか。

でも、有料の橋というもののは、昔からたくさんあったのです。江戸時代の大坂では、

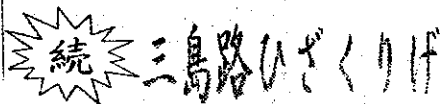
お上の架けた公儀橋(すべて

天満橋のような重要な橋)は十だだけで、「八百八橋」のほとんどは、家商淀屋が架けたこ

とで有名な淀屋橋のように、町人の架けた町橋で、その中には有料の橋も結構あったといわれています。

※このコーナーでは、皆さんからの投稿原稿を募集しています。

平成11年度 三島地区生涯学習広域事業



わがまち三島の昔と今~そして未来へ~

○昨年度に引き続き、市町村が広域的に連携し、地域の住民の方々に学習の場をもつていただくために連続講座を開催します。

○本年度も多彩な講師陣をお迎えし、郷土の歴史と文化を学ぶ内容です。地域を再発見していただくのに、絶好の機会となっております。

○応募方法、講座内容など、詳細は来月号でお知らせします。

【とき】 十月十三日(水) から 十一月十五日(水) まで全十回

【ところ】 会場は各市により異なります。(摂津市は保健センターで)

【定員】 一〇〇名(各市・町それぞれ二十名)申し込み多数の場合は抽選の場合があります。

【参加費用】 保険加入として三〇〇円、交通費は自己負担。



味舌村警察の誕生

昭和二十二年九月十六日付の連合軍最高司令官マッカーサーの書簡に基づいて警察法案を作成し、十二月八日に国会を通過し、十七日に法律第一九六号として公布され、施行は翌年三月七日と決定されました。

この警察法によって、従来の中中央集権的な国家警察は廃止され、警察は国家地方警察と自治体警察の二本立てとなりました。国家地方警察の行政は国家公安委員会が管理し、その運営には都道府県公安委員会があたりました。自治体警察は、市および人口五千人以上の市街地町村に設置され、市町村の所轄のもとに、市町村公安委員会が管理することになりました。味舌村は当時人口六七三七人だったので、

ここに味舌村警察が誕生する運びになりました。人口が足りなかつた鳥飼村・味生村・三宅村は国家地方警察大阪府三島地区警察署の管轄に入りました。

昭和二十二年十二月六日の村議会において、条例・規則等を議決し、即日公示の上、施行しました。警察長兼署長足立功以下六名の味舌村警察吏員への配置も完了し、二十一日には味舌村警察が誕生しました。

当初は警察長兼署長一名、巡查部長二名、巡查三名の陣容でしたが、後に巡查が五名に増員され、計八名の体制となりました。その組織体制については、警邏係と捜査係が置かれており、警邏係は庁内庶務・警邏・装備・警備・交通・遺失物関係、捜査係は犯罪捜査および検挙・鑑識・少年・防犯・留置場・経済諸法

令関係に任じていました。

新制度の切り換えは急激なことであつたので、警察庁舎や留置場の整備は発足までに間に合いませんでした。署は村役場に隣接する消防自動車庫を応急に改造したものであり、留置場は旧吹田警察署のそれを共同使用することになりました。庁舎その他が本格的に整うのは制度発足から一年近く後のことでした。

自治体警察の発足は、当初から難問題をかかえていました。治安対策上からばかりではなく、自治体警察を維持する市町村にとつても、「経費負担の困難性」という難問題がありました。警察法はその附則に「市町村警察に要する

費用は、地方自治財政が確立される時まで、政令の定めるところにより国庫及び都道府県がこれを負担する」と定めていました。しかし、この原則は警察法施行後わずか三か月でくずされ、地方財政法によれば「自治体警察に要する経費」は「当該地方公共団体が、全額これを負担する」こ

となり、自治体警察は経費面から大きな圧迫を受けるようになりました。

昭和二十六年に自治体警察廃止統合のための警察法改正をしました。「人口五千人以上の市街地的町村は住民投票により、その維持する自治体警察を任意に存廃することが出来る。」こととなりました。町村自治体警察の廃止は続出しました。味舌町（二十五年に味舌村から味舌町になっている）は、昭和二十六年九月二十七日に住民投票を行いました。そして、三十日限りで姿を消し、翌十月一日には国家地方警察三島地区署が代わって担当することになりました。



「摂津市史」より担当（茗荷）

考  
古  
雑  
話

第 1 6 回

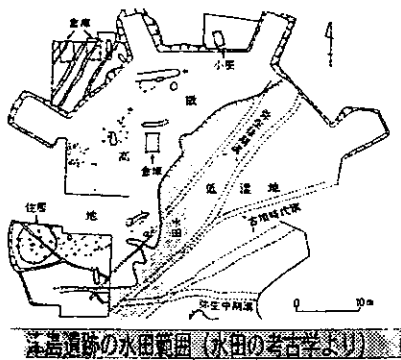
撰津市と水田の考古学

水田発掘のあゆみ(四)

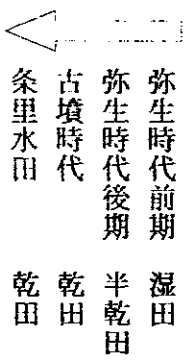
前回紹介しました登呂遺跡の発掘調査から十五年ほどは目立った水田発掘の成果がありませんでした。しかしその後一九六五年、滋賀県大中の湖南遺跡の調査が干拓工事に先立ち実施され、広大な水田跡が発見されました。平面は扇形で、四辺を矢板または杭列で区画していました。その水田一枚の面積があまりにも大きすぎることもあり、水田区画とすることに否定的な研究者もいます。

一九六八年には、岡山市津島遺跡が武道館建設にともない、発掘調査が実施され、はじめに弥生時代前期までさかのぼる水田跡が発見されました。また弥生時代だけでなく

その後の時代の水田跡も良好に検出され、その変遷を理解できる成果がありました。微高地周辺の低湿地がいかに水田開発されていったかが分かる初めての例となったのです。



湖南遺跡の水田区画(水田の考古学より)



第46回埋蔵文化財研究集会

渡来文化の受容と展開

- 5世紀における政治的・社会的変化の具体相(2) -

○五世紀後半には、金工技術、窯業技術など様々な分野で技術革新があったと指摘されています。今回の研究会では渡来系技術の導入から、当時の生活がいかに変化したかなどをダイナミックに解明します。詳しい内容については生涯学習課までお問い合わせください。

【とき】  
八月二十一日(土) 羽曳野市市民会館  
八月二十二日(日) 【定員】三〇〇人

【た】 叩き目技法

○土器や瓦などの製作過程にあつて生じる技法のひとつ。  
○一般に刻線をつけた叩き板などで、表面が生乾きの状態のときに行う。○弥生土器の製作には

じまり、  
上師器・  
中世陶器  
も用いら  
れる。○  
製・陶器  
などの当て具、外には木製の叩き板を用いる。土器を叩きしめることにより器壁が薄くなり、より緻密な土器の製作が可能となる。担当(伊部)



(つづく)